

2019事業年度

一般財団法人宇部市文化創造財団

事業計画書

2019年2月

2019事業年度 事業計画書

I 基本方針

本財団を設立して5年が経過しました。この間、宇部市渡辺翁記念会館（以下、「記念会館」という。）及び宇部市文化会館（以下、「文化会館」という。）の指定管理者として、平成26年（2014年）4月から31年（2019年）3月までの5年間、市民の方々に文化芸術の持つ「人間が人間らしく生きるための糧、生きる力、生きる喜び」という本来的価値をいかに享受していただくかを念頭におきながら、管理運営と文化事業の推進に努めてきたところです。

2019事業年度からの5年間、再び記念会館・文化会館の指定管理者としての指定を受けることが出来ました。その使命を重く受け止めるとともに、これまでの実績と経験を踏まえ、新たな視点に立ち、将来を見据えた計画と取組を行っていきけるよう、主として次のことを重点的に取り組んでいきます。

- 1 市策定の「第四次総合計画・後期実行計画」や「第二次文化振興ビジョン」の施策と連動しながら、引き続き組織目標の設定や業務の計画・執行を図る。
- 2 市が実施する『東京2020オリンピック・パラリンピック』レガシー形成事業」を市と連携して実施し、地元への誇りや愛着心を育てていけるよう進める。
また、政府が取り組む「日本博」を見据えながら、市や関係団体などと連携し、宇部の文化芸術や両会館の魅力を発信し関係人口の増加が図られる取組を行っていく。
- 3 両館の歴史や特性を踏まえ、館内外を有効活用した事業や宣伝を実施するとともに、子ども達や若者が集える環境をつくり賑わいを創出していく。
また、市の重点プロジェクトである「ICT・地域イノベーション推進プロジェクト」と連携し、ICT・IoTを活用した記念会館・文化会館の事業運営・サービス向上を図るシステムを導入していくとともに、革新的な技術を様々な分野に展開していく「Society5.0時代」の実現を目指した取組を検討する。
- 4 「市制施行100周年」における文化事業等に積極的に参画していくため、文化・芸術に関する様々な経験とノウハウ、活動を支える組織力を活かしながら、これまで財団で育成してきた人材を動員して実施できる事業を検討する。また、将来の文化活動をけん引していく市民等の育成を更に図るとともに、今以上に子ども達が文化を通して将来に夢を持ちチャレンジしていける機会の創出を図る。
- 5 自主文化事業の実施については、5年間の中期的実施テーマを「人と人 人と文化をつなぐ」と定め、2019事業年度は東京オリンピック・パラリンピック前年ということもあり、「世界から日本へ日本から世界へ～多様性のある文化を楽しもう～」をサブテーマに事業の選定と実施を行い、子どもから高齢者まで、あらゆる市民が、いつでもどこでも創作活動者鑑賞のできる機会を創出していく。
- 6 UBEビエンナーレ（現代日本彫刻展）本展開催の年となることから、市と連携し、「UBEビエンナーレ×まちじゅうアーフェスタ」の拠点施設の一つとして、文化芸術活動を盛り上げていく。

II 事業概要

定款第4条に掲げる6事業について、具体的に以下のとおり実施する。

1 文化行事開催事業

(1) ステージ事業

●自主文化事業【ステージ事業】

(単位:千円)

No.	実施時期	事業名/実施概要	【目的】【効果】【ターゲット】	会場	事業費
1	5/23 (木)	「半崎美子・小原 孝 デュオコンサート」 かつてはショッピングモールの歌姫として、現在は「泣き歌の女王」として注目を浴びている半崎美子。実力派シンガーソングライターの歌声を堪能できる公演。	【目的】実力と話題性を備えたシンガーの事業を実施することで、普段会館へ足を運ぶことの少ない女性鑑賞者等にも鑑賞する機会を創出する。 【効果】舞台公演を鑑賞することにより、感動の創出と経験価値を高めることにつながる。 【ターゲット】40～50歳代女性・男性	記念会館	3,820
2	7/30 (火)	「樫本大進&小菅 優& クラウディオ・ボルケス トリオ」演奏会 ベルリン・フィル第1コンサートマスターをつとめるヴァイオリニスト樫本大進、高度なテクニックと美しい音色、美しい感性と深い楽曲理解で今、最も注目を浴びている若手ピアニスト小菅優。そして、チェリストクラウディオ・ボルケスの三人で深遠な世界を創り上げる、至福の室内楽公演。	【目的】ホールの特性を活かした、国際的に活躍するアーティストの公演を実施することにより、普段触れることの少ないトップアーティストの鑑賞機会を提供する。 【効果】大都市圏でしか鑑賞することのできないアーティスト公演を実施することにより、記念会館の文化的価値と地元宇部への愛着、アイデンティティの再認識を図ることができる。 【ターゲット】40～70歳代女性・男性	記念会館	4,534
3	8/12 (月祝)	「小野リサ ボサノバコンサート」 一昨年は馴染みのある日本のカバー曲を中心に好評を得たが、要望の高かった「本格的なボサノバ」をピアノとのジョイントで実施する公演。	【目的】2年ぶりの公演となるボサノバコンサートを実施することにより、過去来場者にリピーターとして来場いただくとともに、新規顧客を開発することにより、市民の文化に触れる機会を創出する。 【効果】舞台での公演に間近に触れることにより、鑑賞の機会の創出と経験価値を高める。ターゲットを友人同士、若い主婦、そのパートナーに据え、感動の共有をはぐくむことにつながる。 【ターゲット】30～60歳代女性・男性	記念会館	3,325

No.	実施時期	事業名／実施概要	【目的】【効果】【ターゲット】	会場	事業費
4	9/14 (土)	<p>【共催：宇部音鑑】 「神田将 エレクトーン コンサート」</p> <p>宇部音鑑 200 回目の記念コンサート。公募の地元合唱団・地元ソリストと共に創る夢と希望の公演。第1部平和をテーマに合唱と交響曲のエレクトーン演奏。第2部「レ・ミゼラブル」などの希望にあふれたミュージカルの名曲をソリストと合唱団で演奏。</p>	<p>【目的】宇部市内の文化団体と連携し、共催事業を行うことにより、普段あまり鑑賞する機会の少ないアーティスト公演の実施につながり、鑑賞機会の少ない層への普及啓発となることで、文化の愛好者の拡大につながる。</p> <p>【効果】共催事業の実施により、実施事業のバリエーションが広がり、ひいては友の会の会員の増加とより幅広い文化の享受につなげる。</p> <p>【ターゲット】40～80 歳代女性・男性</p>	記念 会館	—
5	9/20 (金)	<p>【共催：宇部好楽協会】 「第4代三遊亭圓歌 襲名披露公演」</p> <p>現三遊亭歌之助の第4代圓歌襲名披露を三遊亭円楽、林家たい平、桂雀々が舞台に花を添える公演。</p>	<p>【目的】宇部においては未開催の落語襲名披露公演を実施することにより、普段あまり鑑賞する機会の少ない層への鑑賞機会の提供と潜在的な顧客を開発する。</p> <p>【効果】舞台の醍醐味を間近で感じ取ることにより、感動の機会の創出と経験価値を高めることにつながる。ターゲットを友達同士、若い主婦、そのパートナーに据え、文化に親しむことの重要性をばぐくんでいく。</p> <p>【ターゲット】30～70 歳代女性・男性</p>	記念 会館	—
6	10/14 (月祝)	<p>「ミステリーナイトツアー2019 稲川淳二の怪談ナイト」</p> <p>昨年 25 年連続公演ツアーを行った稲川淳二。その四半世紀はあくまでも通過点・単なる序章に過ぎないと語る。オンリーワンであり、巧みな話術を繰り広げる怪談公演。</p>	<p>【目的】普段実施することの少ないジャンルの公演を実施することで、若年層の来館者が増え、潜在的な顧客を開発し、市民の文化に触れる機会を創出する。</p> <p>【効果】エンターテインメント性の高い事業の実施により、足が遠のきがちな会館がより身近になり、文化によるまちの賑わいの創出につながる。</p> <p>【ターゲット】20～60 歳代女性・男性</p>	文化 会館	2,645

No.	実施時期	事業名／実施概要	【目的】【効果】【ターゲット】	会場	事業費
7	日程 調整中	「落語独演会」 大衆芸能ではあるものの、文化に触れるきっかけとなりやすい伝統的な話芸であり、根強いファンが多い「落語」の公演。	【目的】次代を担う子ども達や市民に良質な日本の伝統文化の鑑賞機会を提供する。 【効果】会館寄席として気楽に楽しめる演者と演目を選び継続的に開催することで、鑑賞者の育成と、財団の友の会の会員継続につなげる。 【ターゲット】30～60歳代女性・男性	文化 会館	1,455
8	4/20 (土) 6/30 (日)	《協力事業実施枠》 宇部市内団体やプロモーター実施事業を積極的に誘致することにより、友の会や宇部市民の文化に触れる機会を創出する。 【平成31年1月末現在 決定している協力事業】 「金子美香 メゾソプラノリサイタル」 主催：宇部好楽協会 「古澤巖 ヴァイオリンコンサート」 主催：宇部好楽協会	【目的】宇部市内の文化団体、実行委員会やプロモーターと連携し、協力事業として実施することにより、アーティスト公演の実施が増えるとともに、鑑賞機会の少ない層への普及啓発となり、文化の愛好者の拡大につながる。 【効果】協力事業の実施により、経費のリスクを抑え、実施事業のバリエーションが広がり、ひいては友の会の会員の増加と多様な文化の提供につなげる。 【ターゲット】20～70歳代女性・男性	記念 会館	—

●市受託事業【ステージ事業】

(単位:千円)

No.	実施時期	事業名	実施概要	会場	事業費
1	8月 上旬 (予定)	「全国小・中学生 箏曲コンクール in 宇部」 【継続事業】	全国の小・中学生を対象にコンクールを開催し、伝統文化である箏曲の普及・振興を図るとともに、地域文化活動の促進や子ども達の豊かな人間性と情操の育成を図る。	文化 会館	1,172
2	12月 中旬 (予定)	「第九『歓喜の歌』で HAPPY END 2019 in 渡辺翁記念会館」 【継続事業】	1年の締めくくりに、山口県にゆかりのある出演者等によるステージのほか、その方達と地元オーケストラ、市民から一般公募で結成された合唱団と一緒に「第九」を大合唱する。今年度も更なる若者の参画を図る。	記念 会館	285
3	9月～ 12月 (予定)	「宇部市『芸術祭』」 【継続事業】	市民音楽祭、吟剣詩舞道、邦楽演奏、演劇、奇術、文連フェスティバルなどを各種文化団体が実施。	文化 会館 ほか	257

(2) 展示事業

●自主文化事業【展示事業】

(単位:千円)

No.	実施時期	事業名	実施概要	会場	事業費
1	未定	展示事業 コラボレーション芸術祭 【継続事業】	50年続く芸術祭の展示事業と財団の企画する展示事業がコラボレーションすることにより、新たな発見と感動を生み出すとともに、芸術祭の新展開につなげる。また、文化会館の特性を活かしながら実施することにより、会館や地元への誇りと愛着を持つことにつながる事業。	文化会館	100

●市受託事業【展示・文芸事業】

(単位:千円)

No.	実施時期	事業名	実施概要	会場	事業費
1	9月～ 12月 (予定)	「宇部市『芸術祭』」 【継続事業】	【展示】写真、手工芸、絵画・彫刻、陶芸、華道、木彫篆額、俳画、書道、古典園芸、ばら、ラン、優良文芸作品展 【文芸】詩、短歌、俳句	文化会館 ほか	1,422

2 文化活動支援及び人材育成事業

(1) 活動支援事業

●【文化事業協力・広域連携事業】

(単位:千円)

No.	実施時期	事業名	実施概要	会場	事業費
1	通年	「若手音楽家育成」事業支援 【継続(ブラッシュアップ)事業】	市内で吹奏楽を行っている児童・生徒及び、宇部ジュニア・アンサンブルのメンバーたちの技術のレベルアップを図る事業。アーティスト・イン・レジデンス事業と連携して、指揮者による楽曲指導などを実施し、将来的に吹奏楽とアンサンブルとのコラボレーションを実施していく素地をつくり、育成を図る。	記念会館 ほか	400
2	適宜	「記念会館活用・活性化PR事業」 【継続事業】	文化に触れる機会の少ない層への会館来場のきっかけづくりと、記念会館のロビーや特性をいかしながら事業を実施する。地元アーティストの活用や食等のイベントを交えることで、記念会館及び市の中心部の賑わいを創出する。また、開館80周年を迎えた記念会館と40年を迎える文化会館の利用者を拡大していくため、新たな利用方法なども含め、PRや広報宣伝を継続的に実施する。	記念会館	500

●【市民文化活動支援事業】

(単位:千円)

No.	実施時期	事業名／実施概要	【目的】【効果】【ターゲット】	事業費
1	募集 4月 以降 (予定)	「市民文化活動支援事業」 【継続事業】 市内で開催される文化事業で、財団が定める要件を満たす事業を対象に、当該事業を実施する団体に対し、助成金(予算の範囲内)の交付やチケット販売・広報の支援を行う。 次世代育成や社会的貢献性の高い事業を重視する。	【目的】先人が育んできた宇部独自の文化活動や次代を担う青少年等への人材育成に対して支援し、市民と財団が協働で文化によるまちづくりを推進する事業。 【効果】人材育成や他団体とのコラボレーション、市民参加のワークショップ実施から成果発表等、特色ある事業に対して助成することにより、次世代の青少年の健全な育成や文化活動団体の育成につながる。「beyond2020プログラム」への幅広い参画を促す。 【ターゲット】宇部市内の文化活動団体	1,000

(2) 人材育成事業

①文化活動者等市民に対して

●【人材育成・創造事業】

(単位:千円)

No.	実施時期	事業名／実施概要	【目的】【効果】【ターゲット】	会場	事業費
1	日程 調整中	【次世代育成】 古典音楽 鑑賞&ワークショップ 【新規事業】 音楽(2019年度は邦楽を予定)を通じて、文化活動者の育成を図るとともに、次代を担う子ども達や若者に、日本古来の文化の素晴らしさを認識し触れる機会を創出する。 *箏曲コンクールに併せ実施 予定	【目的】普段あまり鑑賞する機会の少ない音楽・古典音楽等、日本文化の鑑賞を通じて、地域の文化振興と活動者の育成を図る。 【効果】鑑賞とワークショップを連動させた事業を実施することで、より文化に興味関心を持った鑑賞者の育成と、音楽文化の底辺の拡大を図り、将来の音楽を通してのまちづくりにつなげる。 【ターゲット】市民全般	記念 会館 又は 文化 会館	1,040
2	日程 調整中	【アートマネージャー 養成講座 第3弾】 「ワークショップリーダー 養成講座～中級編～」 【継続事業】 平成27年度から実施してきたアートマネージャー養成講座。昨年度からは、演劇的手法を用いたワークショップを組み立て、進めることのできる人材(=リーダー)を養成する講座を実施。今年度は中級編として、より実践に重点をおいて行う。	【目的】次代を担う子どもたちの、良質な体験機会を創出できるような、ワークショップリーダーの養成を図る。 【効果】ワークショップリーダーの素質に求められる「その場で起きていることを、その人を、全て受け入れ共感する」という能力を育んでいくことにより、人とのつながりの現場で発生する問題の解決につながる力となる。 【ターゲット】市民全般	文化 会館 ほか	600

(単位:千円)

No.	実施時期	事業名／実施概要	【目的】【効果】【ターゲット】	会場	事業費
3	7/14 (日)	<p>【国際交流イベント実施事業】 【新規事業】 「ナプア・グレイグ presents ハワイアン・フラ・ダンサーズ」</p> <p>日本から一番近い楽園といえる ハワイから本場の文化・伝統を 伝えるスペシャリストとして活 躍しているフラの歌手・指導者 ナプア・グレイグを中心にダン サー(20人)とミュージシャン (4人)が繰り広げるハワイアン ステージ。</p>	<p>【目的】より広い視野で世界の文化に 触れ、鑑賞することで、国際交流につ ながるとともに、改めて自国の文化の 素晴らしさにも気づける鑑賞の機会 を提供する。</p> <p>【効果】2019年度の自主文化事業 テーマに据えている「多様性のある文 化を楽しもう」から、外国の文化を鑑 賞することにより、自分たちの文化と の違いや多様性の素晴らしさに気づ くとともに、ひいては2020年東京オ リンピック・パラリンピックの際の訪 日外国人の方々とも、自信を持って対 応し、自国に誇りを持つことにつな がる。</p> <p>【ターゲット】 10～60歳代の親子・家族</p>	記念 会館	6,252
4	日程 調整中	<p>【古典芸能イベント実施事業】 【継続事業】 「古今狂言会 狂言とコントが結婚したら」</p> <p>近年、若い世代でも「狂言」の 人気が出ている中で、斬新な活 動をする狂言師と知名度の高い 演者による身近で分かりやすい 古典芸能の公演を実施する。</p>	<p>【目的】次代を担う子どもたちや市民 に、良質な日本の伝統文化の鑑賞機会 を提供する。</p> <p>【効果】日本の伝統文化の鑑賞公演を 実施することにより、自分たちの国の ことをより理解するとともに、文化が 身近なものになり、2020年東京オリ ンピック・パラリンピックで予想され る訪日外国人の方達とも、自信を持 って対応し、自国に誇りを持つことにつ ながる。</p> <p>【ターゲット】 10～60歳代の親子・家族</p>	記念 会館	5,560
5	日程 調整中	<p>【バリアフリーアート】 「心とアートの バリアフリー事業」(仮称) 【継続事業】 幼児から高齢者、障がいを抱え る方、また外国の方など、誰も が楽しめる文化事業を実施す る。</p>	<p>【目的】会館への来場を待つだけでは なく、様々な場所へ出向いて文化を届 けるなど、市民のニーズや生涯学習の 多様化にも対応できる事業を実施す る。</p> <p>【効果】文化事業等への参加を通じ て、感動や出来る喜びを体験し、経験 価値が高まることで、心豊かに生活で きるまちづくりにつながる。</p> <p>【ターゲット】市民全般 *H30度は「みんなや食堂」にて 文化事業を実施</p>	記念 会館 ・ 文化 会館 ・ 市内	300

No.	実施時期	事業名／実施概要	【目的】【効果】【ターゲット】	会場	事業費
6	9月 ～ 12月 (予定)	【宇部市総合戦略 アートによるまちづくり】 「アーティスト・イン ・レジデンス」連携事業 【継続事業】 「アートによるまちづくり 『アーティスト・イン・レジデ ンス』」連携事業として、アー ティストによるワークショップ等 を実施し、子ども達をはじめ市 民がアートに接する機会を創出 する。 *「若手音楽家育成」事業支援 と連携	【目的】宇部市が実施する「アー ティスト・イン・レジデンス」に 連動して、アーティストによる 合唱指導のワークショップ等の 事業を実施する。 【効果】アーティストとの交流 や教育活動を通じて市民の文 化への興味関心がさらに深ま り、経験価値が高まることで より豊かな生活及び社会活動 につながる。 【ターゲット】市民全般	市内	400

●市受託事業【普及・育成事業】

(単位:千円)

No.	実施時期	事業名	実施概要	会場	事業費
1	7月～ 2月(予定)	「子ども伝統文化 わくわく体験学校」 【継続事業】	華道、詩吟、舞踊など伝統文化のほ か、多彩なジャンルの体験教室を開 催。	文化 会館 他	77
2	9月～ 1月(予定)	「子ども文化夢教室」 【継続事業】	各ジャンルの指導者による、学校で のアウトリーチ・ワークショップ型 文化教室を開催。	各小 学校	652
3	未定	「子ども夢・ チャレンジ事業」 【継続事業】	アーティストを招き、子どもたちに 将来への夢や希望・目標などを考え る機会を創出する。	記念 会館	1,000
4	通年	「アートパフォーマーバンク」 管理運営 【継続(ブラッシュアップ)事業】	市にゆかりのあるアートパフォーマ ーの人材情報を集積・管理し発信す る制度＝アートパフォーマーバンク の運営を行い、人材の活動の場を支 援する。	—	325

②財団職員に対して

●【接遇の向上】サービスの向上のためには、職員の接遇意識・技術の向上が必要不可欠である。内部研修だけでなく外部講師を招いての研修を実施し、「おもてなし」の心での接遇を念頭におき職員の接遇に対する利用者の声には速やかに対応し、職員の意識改革を行っていく。具体的な接遇の向上の方策としては、徹底的な研修の必要性があるため、飲食店等民間事業所への派遣研修など OFF-JT (実地研修) を行い、より一層のサービスの向上を図る。

市民や会館利用者及び来場者等を気持ちよく迎え、笑顔で帰っていただくことを第一義に考える。特に、障がい者への差別解消や自主的な配慮を実践し、その他高齢者や子ども等に対しても細やかに配慮する。

- 【人権研修・メンタルヘルス研修の実施】職員の人権意識等をもつめるために専門講師を招聘して人権研修やメンタルヘルス研修を実施し、明るく働きやすい職場づくりを推進するとともに、利用者の立場に立った配慮ある対応へつなげていく。また、内部研修や、職員ミーティングの拡充等を図り、組織全体の意思疎通や能力の向上を進めていく。
- 【外部研修への参加】引き続き全国公立文化施設協会や山口県公立文化施設協議会が実施する研修や、文化庁の講師派遣型支援事業の活用を図り育成を進める。
 - 【具体的な研修事例】
 - ◇全国劇場・音楽堂等研究大会
 - ◇全国劇場・音楽堂等アートマネジメント研修会
 - ◇劇場・音楽堂等への芸術文化活動支援（派遣型）事業 等
- 【職員の資質向上】防犯・防火・地震対策、AED研修等の会館利用者に対する安全対策、障がい者対応、関係法令等の内部研修会や外部講師による非常時等の危機管理研修を実施する。また、両会館の舞台等技術職員には、新しい技術や知識を取得するなど、必要な研修会に積極的に参加できる体制をつくる。また、取得した知識や技術を他の職員にも還元し、職員間の交流が活発になるようにする。
職員全体が組織の健全・円滑な経営感覚をもちながら、常に予算等の進捗管理を念頭において、業務に取り組んでいく。

3 意識啓発及び情報発信事業

(1) 意識啓発事業

- 文化活動団体や地元企業団体等の会合に積極的に参加し、財団のPRや友の会への勧誘、自主文化事業の宣伝を行い、財団の支援者や理解者を増やしていく。
- テレビやラジオなどのメディアに積極的に出演し、財団の取組や実施事業等を宣伝し、啓発の効果を高めていく。
- 利用促進を図るためパンフレットを作製し新規顧客の開拓や継続的な利用につなげていく。
- 行政、文化団体、観光コンベンション協会等との連携を強化し利用促進を図る。
- 利用率の低い時期、年度などあるため、県外プロモーターや県内企業等を訪問し、利用促進プラン等をPRするなど、積極的な営業活動を行っていく。
- マスコミや県外プロモーターなどへ記念会館での鑑賞事業の開催を働きかけるなどの取組も行っていく。
- 過去利用者、行政、文化団体、学校等へ働きかけて利用促進につなげていく。
- 財団友の会
 - ・財団の重要な支援者である財団友の会。財団の活動をご理解いただき、会員数の確実な増員を図るため、リピーターとして来場いただけるような自主文化事業の企画立案に努めるとともに、財団友の会チケット先行予約、チケット価格設定等工夫を凝らしていく。
 - ・文化・芸術に対する最大の理解者であり、財団を支えてくださっている「お得意様」である。財団の重要な支援者である会員との関係性を深めていくことが重要であり、年間の会員の更新率を高めるため、サービスの向上を検討していく。

- ・新規会員の入会を促すため、魅力的な事業を実施することはもとより、会館へ足を運んでくださるお客様へ、文化・芸術への興味関心を高める内容のチラシ配布など「将来の会員を育成する」視点でアプローチを実施していく。

●財団市民サポーター

- ・財団の重要な支援者である財団市民サポーター。参加者一人ひとりの役割や意義を浸透させ、市民の方々の関心を高め、賛同者や加入者を今後も増やしていく。
- ・加入者との連絡体制を密にし、積極的に情報提供していくことで、イベント時の協力参加者の方が増えるように努める。
- ・年度当初には、財団職員とサポーターとの意見交換の場や合同の研修会を行うとともに、表彰や特典付与制度など、活動に充実感や達成感を得られるようにすすめていく。

(ア) 友の会 会員数【H25~29 実績/H30 目標/H31.1 月末の現状/2019 目標】

事業年度 種類	H25	H26	H27	H28	H29	H30 目標	H31.1 月末 現在	2019 目標
個人会員 (人)	61	167	323	402	428	430	440	450
法人会員 (団体)	6	14	25	46	44	45	37	46

(イ) 財団市民サポーター数【H25~29 実績/H30 目標/H31.1 末の現状/2019 目標】

事業年度	H25	H26	H27	H28	H29	H30 目標	H31.1 月末 現在	2019 目標
サポーター数 (人)	31	39	47	56	61	60	58	63

(2) 情報発信事業

●「メディアミックス」

新聞・雑誌・ラジオ・テレビ・フェイスブック・インスタグラムなどのSNSを事業内容に応じて組み合わせ、効果的な情報発信を行っていく。

●情報誌「イベントガイド」「イベントインフォメーション」

掲載内容やトップページに工夫を凝らし、市民の方々が興味を持ち、会館に足を運んでいただき公演の鑑賞者やイベントへの参加につながる誌面作りに努める。

●「ホームページ」

障がいを持った方をはじめ、高齢者や子どもなど、誰でもわかりやすい表示に努め、財団自主文化事業だけでなく、記念会館・文化会館等で実施されるイベントをタイムリーに情報提供していく。

●その他

無料で掲載できる冊子やパブリシティ等を積極的に活用するとともに、他の組織の情報誌やホームページ等への掲載利用を行い、効果的な発信を行っていく。

4 調査研究及び資料収集事業

(1) 調査研究事業

- 利用者からのアンケート結果や、他都市の財団や文化施設などからの情報をもとに、マーケティング分析等を行い、自主文化事業の選定や今後の財団運営方法を常に検討していく。
- ペアチケットやグループチケットの設定、障がい者や外国の言語等に配慮したチケット販売方法を研究し、利用者の購買意欲向上につなげる工夫をしていく。

(2) 資料収集事業

- 安定した事業経営や規模の大きい文化事業を実施している先駆的な他団体のノウハウ等を吸収するための資料収集を進めていく。
- 県内外の大手プロモーター等との日頃からのコンタクトや積極的な直接訪問により、信頼関係づくりの構築とともに、有益な情報収集を図る。
- 全国公立文化施設協会や山口県公立文化施設協議会をはじめ、助成金支援を実施している団体等からの情報をこまめに収集し、市民や文化活動団体へ情報を効果的に提供していく。

5 施設管理運営事業

●維持管理業務

- ①【重要文化財・記念会館の保存と活用】国指定重要文化財である記念会館は、一部改正された文化財保護法から、適切な保存と効果的な活用を念頭に置いた管理運営を行う。
- ②【安全・安心な適切な管理】危機管理体制の充実や安全衛生活動の促進、利用者への案内、警備員による巡回等により、利用者が安全な環境の中で安心し、快適に施設を利用できるよう努める。
- ③【利用者への適切な使用法のご案内】破損などが生じた場合、原状回復ができない部分がある記念会館は、その点を利用者の方々にもご理解いただき、机・椅子等を動かす時には引きずらないなど、適切な使用法をご案内し、保存に努める。
- ④【職員の安全衛生・危機管理意識の徹底】経験豊かな人材を配置し、文化施設としての機能を十分果たせる管理業務を行う。
- ⑤【効率的で経済的な維持管理と適切な保守点検の実施】効率的で経済的な維持管理に努め、管理経費の節減を図る。施設の老朽化に伴い、今後益々適切な維持管理が必要となるため、定期的な保守点検だけでなく、職員による日常点検を実施し、計画的な予防保全に努める。
- ⑥【環境への配慮】節電、節水、省エネルギー等に努めるとともに、廃棄物発生を可能な限り抑制し、環境負荷に配慮する。
- ⑦【設置者や地域社会との連携】市（設置者）との連携を密にし、施設の現状や課題など必要な情報を共有するため、適切な報告や資料提出を行う。地域社会や文化団体などと連携し、社会的責務を果たす。
- ⑧【設備・備品の適切な管理】施設や備品の使用及び保管は、市の基準に準じた備品台帳により適正に行う。なお備品の修理・交換が必要な場合はその都度、市（設置者）と協議を行う。

●運營業務

- ①【公正で公平な利用の確保と安全で快適な環境づくり】利用者が安全で安心して利用できるよう、適切な運營業務を行う。施設の設置目的との整合性を図りながら、市民の平等な利用の確保に努める。
- ②【適正で平等なサービス水準の向上】利用者が快適に施設利用できるよう適正なサービス水準を維持しながら、常に業務の改善・効率化と運営費等の節減を図る。外部委託業者への複数年契約の導入、記念会館と文化会館の施設協働契約等を行うことによりコスト削減を図る。また職員の経費削減の取組はもとより、利用者の方々にも冷暖房温度の設定、水の節約等省エネルギーや環境への配慮と協力をお願いする。
- ③【利用促進に努める運営と情報発信】様々な媒体による広報活動や幅広い営業活動を行い、施設の利用促進を図るとともに、利用者や地域住民へ情報発信をおこなう。プレイガイドとして様々なコンサートやイベントのチケットを取り扱い、文化や地域の情報を提供する。
- ④【安定的収入の確保】施設利用料・付帯設備使用料の安定的な確保に向けて、宇部市内だけでなく県内における営業活動を行う。
- ⑤【市民参画による運営】当財団設立当初より導入している財団市民サポーターは、財団において自主文化事業を実施するにおいて、なくてはならない支援者となっている。これまで事業に携わった活動者が地域において幅広く活動できるように財団側からも支援していく。今後もサポーターミーティングを実施するなど、施設運営の様々な場面に市民が参画できる仕組みの充実に努める。
自主文化事業の決定については、「自主文化事業企画検討会議」を設置、委員を任命することにより、広く披見を賜りながら、実施していく事業を決定していく。
- ⑥【職員の実績を活かしたアドバイスと技術支援】会館利用者の方や、文化活動者などをサポートするために、職員の専門性を活かした施設利用に対する適切なアドバイスを積極的に行う。
- ⑦【法令遵守（コンプライアンス）を徹底した管理運営】施設管理に関する消防法等の諸法令や個人情報の適切な管理、労働基準法などの職員の労働環境の整備に関する法令など、全ての法令等を遵守し、コンプライアンスを徹底した運營業務を行う。
- ⑧【利用者の声を活かした運営】記念会館・文化会館に来られるすべてのお客様に対し、全職員がサービス業であることを念頭に置き接客をする。利用者の立場に立ち、何を望んでいるかを的確に把握し、快適に利用いただけるよう迅速かつ柔軟な対応をし、お客様の声を反映させた管理運営に努める。宇部市からのモニタリング（市実施の利用者アンケートのお客様の声反映）調査の結果を真摯に受け止め、利用者の立場に立った公平・平等なサービスに努める。

	2017(H29)年度 実績	2018(H30)年度 目標	2019年度 目標
記念会館・文化会館 延べ来場者数	156,009人	158,000人	161,000人
記念会館公演等回数	116回	102回	104回
文化ホール公演等回数	98回	107回	109回

●【記念会館 利用促進（活用活性化）事業】

(単位:千円)

No.	実施時期	事業名/実施概要	【目的】【効果】【ターゲット】	会場	事業費
1	4月 ～ 8月	<p>◆参加型事業 「記念会館をもっと知ろう！」</p> <p>①幼稚園・保育園・小学校・中学校 単位にて実施 【継続事業】</p> <p>②夏休み・親子・家族向け【継続事業】</p> <p>③心も体も健康になろう【継続事業】</p> <p>身近にありながら、あまり知らない「渡辺翁記念会館」。その歴史と建築物としての魅力を「劇場・ホール探検ツアー」として体験する。また西日本一の音響として名をはせるホール内で音の響きを体験するとともに、参加者が将来の活動者になれるような感動体験の演出も組み込む事業。</p> <p>③においては、探検後、健康体操を行ったり一緒に歌を歌ったりして、心も体もリフレッシュしていただく。</p>	<p>【目的】ホールの特性と文化的価値の再認識を促す事業。</p> <p>【効果】普段とは違うホール空間を見学し、音の素晴らしさ等を体験することで、感動を共有し、地元宇部への愛着とアイデンティティーが再確認できるとともに、自己肯定感へとつながる。また、経験価値が高まることで鑑賞者や活動者へとつながっていく事業。</p> <p>【ターゲット】</p> <p>①市内幼稚園・保育園・小学校・中学生 ※学校・園単位にて受入・実施</p> <p>②小学生などの親子・家族</p> <p>③高齢者・各種施設入居者等</p>	記念会館 及び ロビー	80
2	8月 ほか	<p>◆体験型事業 「記念会館をひとりじめ！」事業 【新規事業】</p> <p>昨年度まではグランドピアノの「スタインウェイを弾こう！」として実施。より市民のニーズに対応するため、ピアノだけでなく、得意な楽器演奏、ダンスの披露などに、貸切ることが通常難しい記念会館のステージでハレの舞台を体験していただく。 *記念会館の空き状況をみて年に数回実施。</p>	<p>【目的】ホールの特性と文化的価値の再認識を促す事業。</p> <p>【効果】ホールの空間を、自分の特技（ピアノ、楽器演奏、ダンス等）で満喫することにより、舞台に立つことの満足感を味わい、その後の文化活動へとつながっていく事業。</p> <p>【ターゲット】 市民全般</p> <p>*使用ピアノはヤマハグランドピアノ</p>	記念会館	36
3	5/4 (土祝) 未定 未定	<p>《渡辺翁記念会館活用誘致事業》 【継続事業】</p> <p>ロビーや記念会館を利用して実施する事業を誘致し、参加者に気軽に足を運んでいただけるように実施する。</p> <p>「コスプレ・イベント」 「ロビー・コンサート」 「ロビー・ダンス」 など</p>	<p>【目的】ホールの特性と文化的価値の再認識を促す事業。</p> <p>【効果】文化の鑑賞機会の少ない層には会館への来場のきっかけとなるとともに、音楽活動者の発表の場の創出や、鑑賞者が活動者に発展する等、文化の愛好者・活動者の拡大につながり、ひいては記念会館とまちなかの賑わいの創出につながる。</p> <p>【ターゲット】 10～70歳代の女性・男性</p>	記念会館 及び ロビー	(500)

6 その他事業

- 市が実施する「東京2020オリンピック・パラリンピック」レガシー形成事業を市と連携して実施し、地元への誇りや愛着心を育てていけるよう進める。
- 財団が実施する文化事業の中で、「東京オリンピック・パラリンピック」を踏まえ展開される「beyond2020」に認証される事業が増えるよう、日本文化の魅力発信や多様性・国際性への配慮を取り入れていく。
また、政府が取り組む「日本博」を見据えながら、市や関係団体などと連携し、宇部の文化芸術や両会館の魅力を発信し関係人口の増加が図られる取組を行っていく。
- 両館以外でも文化によるまちなかのにぎわい創出を図るため、(株)にぎわい宇部などと連携していく。
- 市の重点プロジェクトである「ICT・地域イノベーション推進プロジェクト」と連携し、ICT・IOTを活用した記念会館・文化会館の事業運営・サービス向上に努める。
また、革新的な技術を様々な分野に展開していく「Society5.0時代」の実現を目指した取組を検討する。
- UBEビエンナーレ（現代日本彫刻展）本展開催の年となることから、市と連携し、「UBEビエンナーレ×まちじゅうアーフェスタ」の拠点施設の一つとして、文化芸術活動を盛り上げていく。

●【その他事業】

(単位:千円)

No.	実施時期	事業名	実施概要	会場	事業費
1	日程調整中	【共催：宇部市】 『東京オリンピック・パラリンピック』 レガシー形成事業 【新規事業】	東京オリンピック・パラリンピックに伴う文化プログラムの認証事業を推進するとともに、財団と市が連携しレガシー形成につなげる文化事業を実施し、文化を通じて大会機運を醸成していく。	記念会館	3,000
2	通年	記念会館・文化会館 ICT化関連事業 【継続事業】	2017(H29)年に開館80周年を迎えた記念会館、2019年に40年を迎える文化会館。建物の老朽化は否めないが、これからのICT化等の可能性を見据え、次世代型文化施設を目指し、事業運営・サービス向上を図るシステムを導入していくとともに、革新的な技術を様々な分野に展開していく「Society5.0時代」の実現を目指した取組を検討する。	記念会館 ・ 文化会館	5,000